

冷房 電気料金値上がりに対抗
エアコンの節電対策は？
every.<まもと

九州電力

去年6月からの料金上昇率 **43.8%**
→ 関西電力に次ぐ高さ

昨年より続く、電気代の激変緩和対策
補助金が5月分で終了し、再エネ賦課金も上昇…
では、一般家庭の対策は??

▼ANNニュースより抜粋

困惑 電気代6月から400円アップ
1年で1500円値上がり悲鳴
5人家族“太陽光”でやり繰り

自家発電した電気を優先的に使用
→ 足りない分を電力会社から購入

困惑 電気代6月から400円アップ
1年で1500円値上がり悲鳴
5人家族“太陽光”でやり繰り

太陽光と蓄電池をフル活用して

困惑 電気代6月から400円アップ
1年で1500円値上がり悲鳴
5人家族“太陽光”でやり繰り

このぐらいに抑えられてはいる

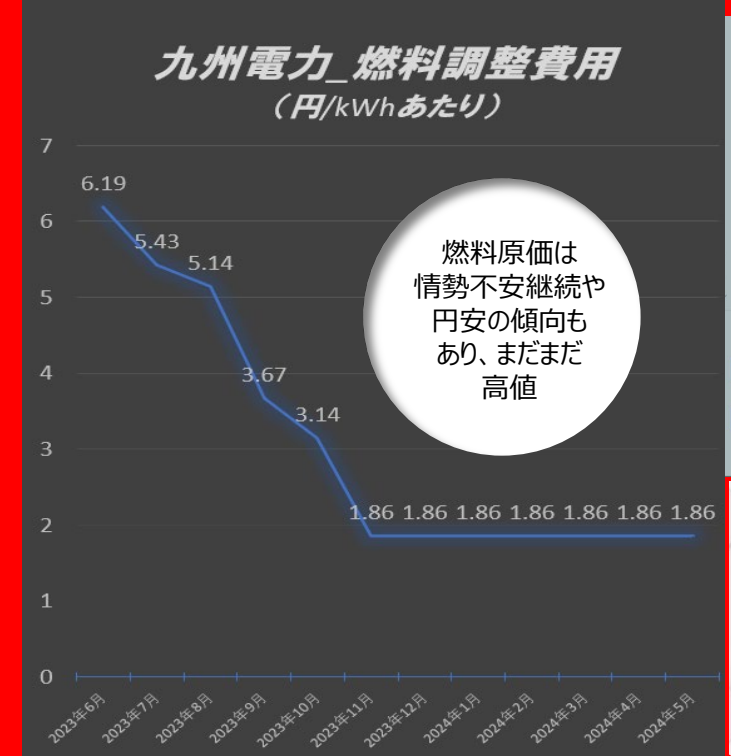
困惑 電気代6月から400円アップ
1年で1500円値上がり悲鳴
5人家族“太陽光”でやり繰り

もし太陽光と蓄電池がなかった場合

困惑 電気代6月から400円アップ
1年で1500円値上がり悲鳴
5人家族“太陽光”でやり繰り

太陽光と蓄電池なかったら
1万8000円は結構痛い

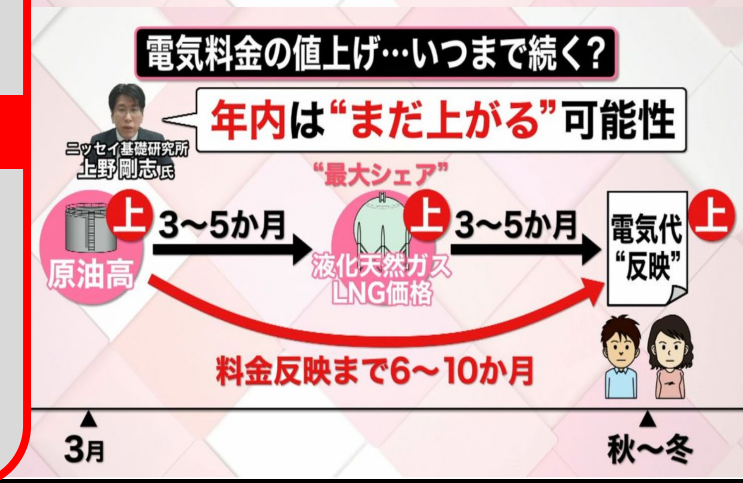
補助金終了



政府支援の
激変緩和対策は
5月で終了。。。
また冬には
電気代高騰の波が
やってくる。

発電と蓄電

今でしょ!



九州の電力事情 電気代上昇は資源輸入大国 日本宿命

ガソリン高止まらず

15円値上げ
ガソリン価格の高騰が止まらず、東京・東北電力管内で電力不足の可能性

ガソリン価格の高騰が止まらず、東京・東北電力管内で電力不足の可能性

原油反転上昇・急激な円安・補助金減

原油価格の高騰が止まらず、東京・東北電力管内で電力不足の可能性

燃料対策二段構えで

燃料価格の高騰が止まらず、東京・東北電力管内で電力不足の可能性

政府検討 補助延長 電気・ガス代も

政府が補助金を延長する可能性を検討中

▶電気料金上昇の構造的要因

- 国内全域での原発停止による、発電コストの上昇
- 天然ガス（LNG）と石炭の価格高騰
- 円安による燃料購買力低下

183.7円 最高値迫る



2010年と2024年では月間の電気代がこれだけ違う！

※計算はすべてSIソーラー調べによります。実際の電力会社の請求額とは異なることがあります。

2010年月間電気代 ※年間平均電気代単価
▶ $400\text{kWh} \times @21.2\text{円} = 8,480\text{円}$

年間電気代支出118,200円、年間電気使用量5,566kWh 総務省家計調査をもとに算出

2024年月間電気代 ※5月電気代単価
▶ $400\text{kWh} \times @37.6\text{円} = 15,040\text{円}$

①4.72円②27.57円+③3.45円+④1.86円
(①基本料金分、②電灯単価、③再エネ賦課金、④燃料調達費)
※電灯単価は、電化でナイト・セレクトを採用、燃料調達費は、2024年4月まで政府の3.5円/kWh補助あり

直近推移	2月	$400\text{kWh} \times @36.56\text{円} = 14,624\text{円}$
	3月	$400\text{kWh} \times @36.56\text{円} = 14,624\text{円}$
	4月	$400\text{kWh} \times @36.56\text{円} = 14,624\text{円}$
	5月	$400\text{kWh} \times @37.6\text{円} = 15,040\text{円}$

月間
6,560円
負担増

この14年間で電気代は、

年間78,720円上昇！

電力不足で初の警報
東京・東北電力管内で電力不足の可能性
政府
電力需給ひっ迫警報
電力の余力3%下回ると発令
2012年 制度作られて以来 初

▲NHK ニュース7より抜粋